

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	分野	要望元	進捗	掲載日	掲載期限	備考
001	高齢者のSNS利用をもっと活性化させ、高齢者の学びと活躍を支援する環境づくり	現在のSNS(Facebook, Twitter...)を利用するには、高齢者にとっては、「個人情報流出リスク」「犯罪に巻き込まれる不安」等のデメリット情報のみが気になって手を出しにくいのが現状だと考える。 そこで、全世界の不特定者を対象としたものではなく、例えば糸島市民のみ、糸島市の高齢者のみ等のように地域を限定してセキュリティをあまり気にしなくてもいいSNSを作ることはできないか。 このSNS地域版を利用して、SNSはどんなものかとか、SNSの功罪を理解することによりSNSに対するアレルギーを取り除き、市民の特に高齢者の学びと活躍を支援してほしい。	今まで大学に蓄積されている高齢者に関するデータの分析により、糸島市の高齢者のITアレルギーを緩和し、高齢者の経験からくる福祉に関するアイデアなどを地域コミュニティ内で発信させ、高齢者でも住みやすい街づくりを目指した官学協同のシステム作り	生涯学習の推進	市民個人	未	18/02/19	20/03/31	
002	柑橘農家を苦しめるモグラの対策について	市内にある柑橘について、モグラの被害が多発している。被害は、柑橘の果樹の根が引っ掻かれ、生育が阻害されている。モグラに対する知識がないので、適切な対処法を確立したい。	モグラの分布する場所を把握し果樹に悪影響を及ぼさない、正しいモグラ対策を示してほしい。 (果樹だけでなく、畑の被害を未然に防げる。)	農林水産業の振興	行政	未	18/07/26	20/03/31	
003	魚価低迷による漁家所得低下の防止対策	漁家所得低迷が漁業従業者の高齢化や後継者不足の一因になっており、最適な出荷先や出荷時期、出荷方法などを判断するためのシステムを構築し、漁家所得向上につなげたい。	効果的な出荷先や出荷時期、出荷方法を判断するためのシステムを構築していただきたい。	農林水産業の振興	行政	対応中	18/09/14	20/03/31	令和2年度協定大学等課題解決型研究事業にて研究採択
004	メタン発酵消化液を液肥利用した場合のジャンボタニシへの影響	田植え後、ジャンボタニシは稲の苗を食へ、田んぼが虫食い状になり、収穫量に大きな被害を与えている。一方で、ジャンボタニシはアルカリ性に弱く、アルカリ性が強い田んぼでは、活動も弱まるという説もある。そこで、畜産糞尿を原料としたメタン発酵消化液を液肥として利用した場合、ジャンボタニシの活動が弱まるかどうかの調査をお願いしたい。	実証に基づき、液肥のジャンボタニシに及ぼす活動抑制効果。	環境対策	行政	対応中	18/11/09	20/03/31	令和2年度協定大学等課題解決型研究事業にて研究採択
005	瑞梅寺(中山間地域)の地の利を活かした再生可能エネルギーの研究並びにその益金を地元振興対策の研究と実践に向けて	瑞梅寺行政区には、瑞梅寺ダムがあり、この水力を活かして小水力発電を設置(平成28年11月竣工)している。瑞梅寺地区の地の利を活かした売電益の活用方法として、再生可能エネルギー整備、その電力の供給および非常用の蓄電池の設置研究を期待し、地域社会創りに繋がってほしい。	環境に詳しい研究者から、より具体的な手法を研究頂き、提示してほしい。	環境対策	市民個人	未	19/04/03	21/03/31	
006	在宅復帰を目指すリハビリ施設として施設内活動プログラムの開発	施設内での介護及びリハビリテーションを提供し、利用者の自立と在宅復帰に向けたプログラム内容の質の向上を図るため、介護及びリハビリの効果を経験的、客観的に把握ができ、利用者に応じたプログラムを提供したい。	施設療養に係わるスタッフ全体で取り組む人員配置体制の整備、利用者に応じた施設生活プログラムの開発、目的達成のためのスタッフへの意識改革の支援を期待している。	健康づくり・福祉	市民個人	未	19/04/03	21/03/31	
007	福岡市内への移動に係る所要時間の短縮について	福岡市に隣接する糸島市は、福岡市内から糸島市と同じ距離(25km)にあたる二日市市や古賀と比較し、移動に2倍以上の時間がかかっており、移動距離に対する所要時間の長さ課題である。	大学の専門的な知識を活用し、「交通政策の提案に向けた研究」を行っており、JRの特急(快速)の乗り入れやLRTの導入など、交通アクセス時間の短縮が期待される。	公共交通	市民個人	未	19/04/03	21/03/31	
008	糸島ネギの機能性について	糸島市におけるネギの作付面積は福岡県内で2番目に広く、ネギ農家数もとても多い。ネギの摂取による身体への機能性については研究が必要で、糸島産ネギは一般的なネギと比べて品種も味も違うため、栄養素も違うことが考えられる。更に、ネギ坊主は、食用としては利用されず、廃棄されている現状でほとんど研究がされていない。	大学の専門的な知識を活用し、ネギ坊主やネギの機能性分析により、加工食品の付加価値の向上や薬の原料、食用以外の活用方法、堆肥づくりの原料など、幅広く活用が期待できる。 ※ネギ坊主とは、春先(3月~6月頃)に咲くネギの花で種子のこと。	農業振興	市民個人	未	19/04/03	21/03/31	

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	分野	要望元	進捗	掲載日	掲載期限	備考
009	IBD、IBS患者に対しての包括的なフォローについて	難病指定されているクローン病患者にとっては、外出時のトイレ事情は深刻な状態。急な腹痛で、付近のトイレ探しや借りることは支障が多く、特に少し離れた山手や海手ではさらに困難な状況。遠出や観光を避ける一因になっている。 公共の施設でトイレがあっても紙がない、においが強い、和式しかない、そもそも場所がわからない、ケア用品の種類が少ない等。	老若男女が購入しやすいような種類豊富なケア用品（便もれのパッドなど）の開発や、使いやすい公共トイレ（オストメイト対応トイレ）、その他のトイレを示したマップ・アプリ開発など。	福祉支援	市民個人	未	19/04/03	21/03/31	
070	児童・生徒の自尊感情の向上について	糸島市内小・中学生は、学方面（中学校3年生の英語を除く）は全国平均を上回っている反面、「自尊感情が低い」「課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組む姿勢を選んだ児童生徒の割合が低い」との結果が出ている。 糸島市内小・中学生の未来及び学校教育の現場において、「自尊感情」をいかに上げていくかが課題である。	教育学・社会学・心理学の面から学校教育の現状等を分析し、フィンランドでの取組を糸島モデルとして構築し、ワークショップ形式による研修、モデル校での実践、結果分析・改善、市内の教育現場へ普及を行なうことで、糸島市内小・中学生の自尊感情向上が期待される。 さらには、主体的に目標設定ができ、達成に向け行動できる人材が育ち、得意分野を活かせる社会人として活躍することで、糸島市の持続ある開発目標の達成に寄与することが期待される。	教育の充実	市民個人	未	20/04/01	22/03/31	
071	JR 筑肥線 運休時のバス及びタクシーによる効率的な代替輸送の可能性	悪天候によるJR運休により、通勤時間の大幅な遅れや帰宅時間の見通しが立たないことがあり、日常生活に影響を与えている。 JR運休時には、姪浜駅で電車を降りることになるが、姪浜駅から唐津方面へ行くバスはないため、タクシー利用を試みる人が多く、タクシーを待つ時間が長くなり、帰宅時間が読めない。（特に単身者や世帯全員が糸島市内にいない場合は、自家用車で迎えるという手段はない）	近年の糸島市内のJR沿線の人口増加の現状及び糸島市内から福岡市方面や佐賀方面へ通勤通学で移動する人口を国勢調査等の統計を用いて明らかにし、研究を行うことで代替輸送を実行する場合の意義と効果を証明。 九州大学は福岡市及び糸島市の両市にまたがることから、自治体の垣根を超えた視点で住民サービスを提案してほしい。	公共交通の充実	市民個人	未	20/04/01	22/03/31	
072	九州大学関係者の交通課題解消	九州大学伊都キャンパス移転完了により、毎日大勢の学生や教職員が通っている。糸島市内から九州大学伊都キャンパスに通う場合、場所によっては1時間半に一本程度の黄色のバスに頼らざるを得ず、糸島に住むことに抵抗を示す学生が多い。 それらの課題を、代替手段の提案などを検討・解消し、糸島に住む九大生及び九大関係者を増やし、活気のあるまちにしてほしい。	交通課題の解決に資する研究者が要れば、実際に通う当事者として、考えていただけると思っている。	公共交通の充実	市民個人	未	20/04/01	22/03/31	